

# 香取市合併 10周年記念式典

“ 幾本もの道を 確かな一本に束ねて ”

日時：平成 28 年 4 月 24 日（日）午前 10 時～

場所：香取市佐原文化会館

## 式典次第

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 市長式辞
- 4 市議会議長あいさつ
- 5 来賓祝辞
- 6 来賓紹介
- 7 姉妹・友好都市等紹介
- 8 祝電披露
- 9 合併 10 周年記念表彰
- 10 作文コンクール最優秀者表彰・発表  
( 休 憩 )
- 11 アトラクション
  - (1) 合併 10 周年記念ビデオ上映
  - (2) 中学生による記念合唱  
(佐原中学校・香取中学校・小見川中学校の合同合唱団)  
♪ 朝の讚美歌、Alleluia、ふるさと ♪
- 12 閉式のことば



※ 小野川周辺において「山車特別曳き廻し」が行われますので、ぜひご覧ください。



## 香取市長 宇井成一

香取市の合併 10 周年を迎えこのうえない慶びと、市民をはじめ、多くの皆様に心から感謝を申し上げます。

香取市は、平成 18 年 3 月 27 日、千葉県北東部の佐原市・小見川町・山田町・栗源町が合併して誕生しました。私は、この 10 年間、香取市の舵取り役を担わせていただき、故郷に洋々と流れる歴史や文化を尊重しつつ市民協働によるまちづくりを進め、新市全体の一体感の醸成と融和に全力で取り組んでまいりました。

また、行政サービスについて、市民福祉の向上と利便を図る観点から、香取市としてのルールや基準を定め、各施策の平準・統一化に取り組むほか、地域経済・財政の厳しい状況をふまえ、財政運営規律の健全化、適正規模に見合う行政組織体制の改編や職員数の削減など、ゆるぎない行財政改革に努めてきたところです。

施設整備では、まず、教育施設や市民活動施設の改修・建替を行うほか、市内幹線道路の計画的な整備に着手するなど、公共施設や基盤の質的向上を図るため、課題解決と優先度を考慮しながら、諸事業を展開してまいりました。

一方、平成 23 年 3 月の東日本大震災では、約 3,500ha が液状化するなど、未曾有の被害を被り、香取市の将来に大きな影を落としましたが、市民をはじめ、国・県、関係団体等々の皆様から多くのご支援をいただき、現在、復旧を成し遂げ、力強く復興の歩みを進めているところであります。

“幾本もの道を 確かな一本に束ねて” 香取市が誕生して 10 年という節目の今年は、将来を見据えたスタートの年でもあります。合併により大きく束ねられた香取市のまちづくりは、市民はもとより、香取市を見つめる多くの皆様の結集・結束を得て、今、確かな一本の道となり、今後も実績と歴史を重ねて、私たちの将来や次代へとつながります。

とりわけ、少子高齢化や人口減少等の比類ない諸課題に対し、地方創生の観点から戦略的に取り組むこととし、企業誘致等の産業振興施策の拡充、主要幹線道路や子育て環境の整備をはじめ現在、水郷佐原水生植物園、橘ふれあい公園、小見川駅前広場や佐原駅周辺地区にて、ひとの賑わう拠点づくりを進めるほか、地域医療提供体制の充実を図るなど、引き続き、『一人ひとりの市民が輝く活気みなぎるやすらぎの郷 香取』の実現に努めてまいります。

市政及びまちづくりに対し、皆様方のこれまでのご支援ご協力に深く敬意を表するとともに、さらなる発展に向けて、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、あいさつといたします。



## 香取市議会議長 林 信 行

香取市が合併 10 周年を迎えるにあたり、市議会を代表してお祝いのごあいさつを申し上げます。

本日、ご来場の皆様には、香取市の発展にご支援ご尽力を賜りましたことに、深く敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げます。

さて、平成 18 年 3 月 27 日に当時の佐原市・小見川町・山田町・栗源町が合併して香取市に生まれ変わり、早くも 10 年が経過いたしました。

合併以来、本市はそれぞれの地域の自然や風土、伝統・文化、暮らしやすい生活環境を守り育てながら、市域の均衡ある発展を目指して、着実にまちづくりを進めてまいりました。

市議会では、新市の基盤づくりや市民福祉の向上のために行政当局と真摯な議論により、課題の解決に全力を尽くしてまいりました。また、市民の皆様信頼される議会を目指し、議員定数の削減、議会だよりや議会ホームページの充実、一問一答式による一般質問など、積極的な議会改革に取り組んでまいりました。

今後、人口減少・少子高齢化など社会経済情勢が大きく変化していく中、複雑多岐にわたる行政需要に的確に対応していくためには、議決機関である地方議会の果たす役割はきわめて大きいと考えております。市議会といたしましても、ふるさとの心を大切に伝えながら、10 年後、100 年後に輝き続けるまちを目指して、大いなる力を注いでまいります。

結びに、今後も香取市の発展のため、皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝を祈念して、ごあいさつといたします。

# 香取市 10年の歩み



- 平成 18 年
  - 3月 香取市誕生（佐原市・小見川町・山田町・栗源町が合併）
  - 4月 初代市長に宇井成一氏が就任  
旧 1 市 3 町 76 人の議員による初議会を開催
  - 9月 香取市合併記念式典を挙行、市章を制定
  - 12月 市議会議員選挙（定数 30 人）
- 平成 19 年
  - 3月 市の花・木・鳥を制定
  - 4月 市内小中学校で 2 学期制を開始  
香取広域市町村圏事務組合と北総西部衛生組合が統合
  - 7月 全国市町村あやめサミットを香取市で開催
  - 12月 香取駅の新駅舎が完成
- 平成 20 年
  - 3月 香取市総合計画を策定
  - 5月 水郷佐原水生植物園 開園 40 周年記念式典を挙行
  - 6月 全国山・鉾・屋台保存連合会総会佐原大会を開催
  - 11月 香取市初 功労者 3 人に市民表彰を授与
- 平成 21 年
  - 4月 栗源小学校、沢小学校、高萩小学校が統合
  - 12月 第 1 回香取小江戸マラソン大会を開催
- 平成 22 年
  - 3月 道の駅・川の駅「水の郷さわら」がオープン
  - 4月 香取市長に宇井成一氏が再選（2 期目）
  - 6月 伊能忠敬関係資料 2345 点が国宝指定
  - 7月 兵庫県川西市と姉妹都市協定を締結
  - 9月 千葉国体開幕（市内で 3 競技を開催）
  - 12月 市議会議員選挙（定数 25 人）
- 平成 23 年
  - 3月 東日本大震災により甚大な被害を受ける  
市民憲章制定、香取市まちづくり条例制定  
佐原駅の新駅舎が完成
  - 4月 地域自治区制度を廃止
  - 9月 オリジナルナンバーの交付開始（原付バイク）
  - 11月 香取市災害復興計画を策定
- 平成 24 年
  - 4月 伊能忠敬まつり「完全復元 伊能大図展」を開催
  - 7月 福島県喜多方市と友好都市協定を締結
  - 9月 道の駅くりもと「紅小町の郷」10 周年記念
  - 10月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結
- 平成 25 年
  - 3月 学校給食センターが完成（4 施設が統合）
  - 4月 小見川市民センター「いぶき館」がオープン  
新島小学校と大東分校が統合
  - 5月 市役所に総合窓口を開設  
第 62 回利根川水系連合水防演習が佐原河川敷で開催される
  - 8月 新島中学校の新校舎が完成
- 平成 26 年
  - 3月 佐原消防署庁舎及び栗源分遣所庁舎が完成  
香取市与田浦太陽光発電所で発電開始
  - 4月 小見川北小学校と利北分校が統合  
香取神宮式年神幸祭が開催される  
香取市長に宇井成一氏が再選（3 期目）
  - 8月 九代目松本幸四郎特別公演が開催される
  - 11月 栗源市民センター「さつき館」がオープン
  - 12月 市議会議員選挙（定数 22 人）
- 平成 27 年
  - 3月 竜谷バイパスが開通
  - 4月 新島小学校と湖東小学校が統合
  - 9月 佐原駅前広場が完成
  - 10月 合併 10 周年記念 市のロゴマークが決定
- 平成 28 年
  - 3月 十六島出張所の消防庁舎が完成  
茨城県つくばみらい市とふれあい交流に関する協定を締結
  - 4月 佐原中学校と佐原第三中学校が統合  
佐賀県鹿島市と友好都市協定を締結



香取市開市式



水生植物園 開園 40 周年



第 1 回香取小江戸マラソン大会



水の郷さわらオープン



千葉国体（ハンドボール決勝）



東日本大震災の被害（小野川）



香取市学校給食センター



いぶき館オープン



新島中学校の新校舎



与田浦太陽光発電所



佐原消防署の新庁舎



竜谷バイパスが開通



さつき館オープン



佐原駅前広場が完成

# 香取市のプロフィール



香取市は、千葉県の北東部に位置し、北は茨城県と接しています。東京から 70km 圏にあり、世界への玄関、成田空港から 15km 圏に位置しています。北部には利根川が東西に流れ、その流域には水郷の風情漂う水田地帯が広がり、南部は山林と畑を中心とした平坦地で北総台地の一角を占めています。

日本の原風景を感じさせる田園・里山や、水郷筑波国定公園に位置する利根川周辺の自然景観をはじめ、東国三社の一つ「香取神宮」、日本で初めて実測日本地図を作成した「伊能忠敬」（関係資料は国宝指定）の旧宅ほか、江戸時代から昭和初期に建てられた商家や土蔵が軒を連ねる佐原の町並み（国選定重要伝統的建造物群保存地区）が見られるなど、香取市は水と緑に囲まれ、自然・歴史・文化に彩られたまちです。

行事も年間を通して盛んに行われ、4月から5月にかけては小見川城山公園の「水郷おみがわ桜つつじまつり」が、6月には400品種150万本の花菖蒲が咲き誇る水郷佐原水生植物園の「水郷佐原あやめ祭り」が訪れる人の目を楽しませています。7月と10月には佐原囃子の調べに乗って山車が市内を曳き廻される勇壮絢爛な「佐原の大祭」（「佐原の山車行事」は国指定重要無形民俗文化財）が盛大に開催され、8月には関東でも有数の歴史と規模を誇る「水郷おみがわ花火大会」が開かれます。そのほか、日本一の焼いも広場が人気の「栗源のふるさといも祭」や、新緑の里山を彩る「いきいき山田鯉のぼりまつり」、黒部川での「市民レガッタ」、歴史ある町並みの中を走る「小江戸マラソン」など、地域の特性を活かした催しが数多くあります。

産業面では、古くから水郷の早場米産地として知られる米どころであり、また、食用甘しょの生産・販売額全国一を誇る千葉県の中でも一番の生産地であることから、日本一の食用甘しょ生産地ともいえます。温暖な気候と肥沃な農地に恵まれ、首都圏の食糧生産地の役割を担っています。

## 市章



美しい水辺の自然、広大な水田と里山の自然、未来に広がる青空を香取市（Katori）の頭文字「K」に重ね、鳥の羽ばたく形にシンボライズ。躍動感ある形は、香取市の美しく雄大な自然と未来への発展を象徴しています。

## 香取市民憲章

わたくしたちの香取市は、雄大な利根の流れと肥沃な北総台地に生まれ、香取の杜や伝統的な町並みをもつ、豊かな自然と長い歴史のあるまちです。

わたくしたちは、この郷土を愛し、市民協働による住みよいまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一 水や緑を大切にし、美しいまちをつくりまします。
- 一 地域の歴史を大切にし、文化の香り高いまちをつくりまします。
- 一 きまりを守り、平和で安心なまちをつくりまします。
- 一 とともに学び、ともに働き、活気あふれるまちをつくりまします。
- 一 お互いに助けあい、笑顔で暮らせるまちをつくりまします。

## 姉妹・友好都市等

- ・兵庫県川西市（姉妹都市）
- ・福島県喜多方市（友好都市）
- ・茨城県つくばみらい市（ふれあい交流に関する協定）
- ・佐賀県鹿島市（友好都市）

## 災害時相互応援協定

- ・福島県喜多方市・愛知県安城市・岩手県山田町
- ・兵庫県川西市・佐賀県鹿島市

## 小江戸三市

- ・埼玉県川越市・栃木県栃木市

## 市の花 アヤメ



## 市の木 サクラ



## 市の鳥 ヨシキリ

